

- 問1 四国地方の北東部に位置する県、北陸地方の富山県、紀伊半島の和歌山県、九州地方の宮崎県の4つを比較したとき、この中で「日本で最も面積が小さい」という特徴を持つ県はどれですか。 (2023年 富山公立入試 類似)
1. 香川県
 2. 徳島県
 3. 愛媛県
 4. 高知県
- 問2 日本の農業に関する統計資料において、農業就業者1人あたりの耕地面積が約1.6haと全国で最も小さい水準にありながら、農業産出額における野菜の割合が他地域よりも高い地域が見られます。このような地域が、北海道のような大規模経営を行う地域と比較して、生産を維持するために重視している経営上の背景として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
1. 広大な原野を牧草地として活用し、一頭あたりの生産コストを抑える背景
 2. 労働生産性を高めるために大型機械を導入し、一人あたりの作付面積を拡大する背景
 3. 限られた耕地に多くの資本や労働力を投入し、土地あたりの収益性を高める背景
 4. 温暖な気候と豊富な水資源を利用し、米の二期作によって収穫回数を増やす背景
- 問3 本州四国連絡橋の3つのルートのうち、岡山県を起点として香川県へとつながる「児島・坂出ルート」が持つ、他の2つのルート（神戸・鳴門ルート、尾道・今治ルート）にはない交通上の大きな特徴を説明したものとして、正しいものを選びなさい。 (2018年 大阪公立入試 類似)
1. 3つのルートの中で唯一、鉄道が走行できる構造になっている。
 2. 自転車や歩行者が専用道路を通じて渡ることができる唯一のルートである。
 3. 本州と四国を島を介さずに直接一つの橋だけで結んでいる。
 4. 有料道路ではなく、一般国道として無料で通行することができる。
- 問4 鳥取県の農業について述べた次の文のうち、産出額の構成とその背景について説明したものとして正しいものはどれですか。 (2017年 富山県公立入試 類似)
1. 干拓によって得られた広大な平地を利用した、大規模な稲作が中心となっている。
 2. 大山の裾野に広がる広大な土地を利用して、牛や鶏などの飼育が盛んに行われている。
 3. 瀬戸内海の温暖な気候と傾斜地を活かした、レモンやみかんなどの果実栽培が中心である。
 4. 大都市に近い立地を活かし、キャベツやレタスなどの近郊農業が産出額の半分以上を占める。
- 問5 1988年に、岡山県と香川県を結ぶ瀬戸大橋が開通したことによって生じた交通体系の変化として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
1. 本州と四国が陸上で結ばれたことにより、移動時間が大幅に短縮され、人や物の流れが活発になった。
 2. 本州と四国間の物流が鉄道から航空路へと完全に移行し、瀬戸大橋は観光専用の道路となった。
 3. 海上の視界が改善されたことでフェリーの運航本数が大幅に増え、陸上交通との競争が激化した。
 4. 四国地方から本州への人口流出を抑えるため、あえて移動時間がかかるような道路設計がなされた。
- 問6 中国・四国地方に属する香川県、広島県、山口県の統計を比較検討した際、香川県を特定するための指標として、農業および地理的条件の観点から最も適切な記述はどれですか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
1. 3県の中で最も人口減少率が低く、自動車産業などの製造品出荷額が県内総生産の半分以上を占めている。
 2. 中国山地の山間部を利用した肉用牛の飼育が盛んであり、乳製品の産出額が四国地方で最大である。
 3. 県全体の面積は日本で最も狭いが、温暖な気候を活かした果実栽培や、瀬戸内海での養殖業を含む漁業産出額に特徴がある。
 4. 本州と九州を結ぶ関門海峡に面しており、下関港を中心とした遠洋漁業の拠点として漁獲量が突出している。
- 問7 中国地方と四国地方の間に位置する地域では、約4170kmにおよぶ島や半島、岬が入り組んだリアス海岸が広がっています。この複雑な地形を活かして、人口が集中する都市の臨海部で特に盛んに行われており、カーフェリーなどの製造を通じて関連産業が集積している工業はどれですか。 (2022年 東京都公立入試 類似)
1. 瀬戸内工業地域の造船業
 2. 中京工業地帯の自動車工業
 3. 京浜工業地帯の石油化学工業
 4. 阪神工業地帯の金属工業
- 問8 愛媛県の今治市や西条市、新居浜市などが含まれる東部沿岸では、石油を原料としてプラスチックや合成繊維などを製造する工業が発展しています。瀬戸内工業地域の一角をなすこの地域で盛んな工業の名称として、最も適切なものを選択してください。 (2018年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 石油化学工業
 2. 出版・印刷業
 3. 電気機械工業
 4. 食料品工業
- 問9 中国・四国地方の各県の産業について、統計上の特色を正しく説明しているものはどれですか。なお、工業出荷額は製造品出荷額を指し、農業産出額は各部門の生産実績に基づいた指標を指します。 (2021年 埼玉県公立入試 類似)
1. 広島県は工業出荷額が10兆円を超えて地域で最も高く、高知県は野菜の産出額が約750億円と突出しており、愛媛県は果実の産出額が500億円を超えて高い。
 2. 高知県は工業出荷額が地域で最も高く、愛媛県は野菜の産出額が約750億円と突出しており、広島県は果実の産出額が500億円を超えて高い。
 3. 愛媛県は工業出荷額が10兆円を超えて地域で最も高く、広島県は野菜の産出額が約750億円と突出しており、島根県は果実の産出額が500億円を超えて高い。
 4. 広島県は工業出荷額が10兆円を超えて地域で最も高いが、高知県は果実の産出額が最も高く、愛媛県は野菜の産出額が突出している。
- 問10 中国・四国地方の太平洋側（高知など）の気候統計では、7月から9月の降水量が約960mmと非常に多くなる傾向があります。このような降水量分布を生じさせる気象要因の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 埼玉県公立入試 類似)
1. 夏の季節風、梅雨前線、および台風の影響
 2. 冬の季節風、およびシベリア高気圧の影響
 3. 対馬海流（暖流）と北西の季節風の影響
 4. フェーン現象による乾燥した空気の影響
- 問11 年間降水量が1100mm未満という少雨で、かつ冬でも温暖な瀬戸内地方の気候条件を活かして盛んに行われている農業の説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2020年 長野県公立入試 類似)
1. 水はけの良い傾斜地などを利用して、レモンやミカンなどの柑橘類の栽培が行われている。
 2. 冷涼な気候とわずかな降水量を活かして、キャベツやレタスなどの高原野菜の栽培が行われている。
 3. 豊富な日照時間と平坦な土地を活かし、スプリンクラーで大量の水を撒くことで大規模な稲作が行われている。
 4. 湿度の低さを利用して、病害虫に弱い品種のリンゴやサクランボの栽培が平地で広く行われている。
- 問12 高知県でなすの収穫量が四国地方で最も多い背景には、地理的条件を活かした栽培工夫があります。冬でも温暖な気候とビニールハウスなどの施設を利用し、本来の収穫時期よりも時期を早めて出荷する栽培方法を何といいますか。 (2019年 兵庫県公立入試 類似)
1. 促成栽培
 2. 抑制栽培
 3. 二毛作
 4. 高冷地農業

答え合わせ・解説

問1	答え 1 香川県	香川県は四国地方の北東部に位置しており、日本の47都道府県の中で最も面積が小さい県です。かつては大阪府が最小でしたが、埋め立てによる面積増加や国土地理院の算定方法の変更により、現在は香川県が最小となっています。瀬戸内海の気候により降水量が少なく、ため池が非常に多いことも地理的な特徴です。
問2	答え 3 限られた耕地に多くの資本や労働力を投入し、土地あたりの収益性を高める背景	1人あたりの耕地面積が小さい香川県などでは、土地を広げることによる増収が困難です。そのため、狭い土地に手間（労働力）や肥料・施設（資本）を集中させる「集約的農業」を選択し、野菜などの付加価値の高い作物を育てることで経営を成り立たせています。これに対し、北海道などは広い土地を効率よく扱う「粗放的農業」の傾向が強く、経営の仕組みが根本的に異なります。
問3	答え 1 3つのルートの中で唯一、鉄道が走行できる構造になっている。	岡山県と香川県を結ぶ児島・坂出ルート（瀬戸大橋）は、本州四国連絡橋の中で唯一、JRの列車が走行する鉄道道路併用橋となっています。これにより、特急列車や貨物列車が四国と本州を直接行き来することが可能になりました。自転車や歩行者が渡れるのは「しまなみ海道（尾道・今治ルート）」の特徴です。
問4	答え 2 大山の裾野に広がる広大な土地を利用して、牛や鶏などの飼育が盛んに行われている。	鳥取県の農業産出額において、畜産は全体の58.1%を占める主要な部門です。これは、大山の周辺に広がる緩やかな傾斜地や広大な土地が、家畜の飼育や牧草地として適しているという地理的条件に基づいています。一方で、米（12.5%）、野菜（10.8%）、果実（7.9%）などの割合は畜産に比べてと低くなっており、全国的に見ても畜産に特化した産出構造を持っているのが特徴です。
問5	答え 1 本州と四国が陸上で結ばれたことにより、移動時間が大幅に短縮され、人や物の流れが活発になった。	1988年に開通した瀬戸大橋は、本州（岡山県）と四国（香川県）を道路と鉄道の併用橋で結びました。これにより、それまで船舶に頼っていた交通が陸上交通へと転換され、移動時間の劇的な短縮が実現しました。その結果、経済活動や生活圏の拡大など、地域間の交流が非常に活発になりました。
問6	答え 3 県全体の面積は日本で最も狭いが、温暖な気候を活かした果実栽培や、瀬戸内海での養殖業を含む漁業産出額に特徴がある。	統計資料から県を特定する場合、香川県は「面積が最小」という地理的特徴に加え、瀬戸内海式の温暖な気候を利用した果実栽培（みかん、オリーブなど）や、世界で初めて成功したハマチの養殖などの漁業が盛んであるという点が大きな判断材料となります。広島県は人口規模や観光客数、山口県は本州最西端の立地や工業・水産業のバランスで区別します。
問7	答え 1 瀬戸内工業地域の造船業	瀬戸内海沿岸は、多くの島々や入り組んだ海岸線を持つリアス海岸が発達しています。波が穏やかで水深が深い入り江は、大型船の建造や停泊に非常に適しており、古くから造船業が発展してきました。現在でもカーフェリーをはじめとする多様な船舶の建造が行われており、部品供給を行う関連工場も周辺に集積しています。
問8	答え 1 石油化学工業	愛媛県東部の東予地方と呼ばれる地域は、瀬戸内工業地域の中でも特に大規模な工場が集まる場所です。海外から大型タンカーで運ばれてくる原油などの資源を利用し、プラスチックや合成ゴム、合成繊維の原料を生産する石油化学工業が、沿岸部の埋め立て地を中心に大規模なコンビナートを形成して発展しました。
問9	答え 1 広島県は工業出荷額が10兆円を超えて地域で最も高く、高知県は野菜の産出額が約750億円と突出しており、愛媛県は果実の産出額が500億円を超えて高い。	広島県は瀬戸内工業地域の中核として自動車や鉄鋼などの製造業が非常に盛んであり、中国・四国地方で最大の人口と工業出荷額を誇ります。農業面では、高知県は黒潮（日本海流）の影響を受けた温暖な気候を活かした野菜の栽培が盛んで、野菜の農業産出額が突出しています。また、愛媛県は急傾斜地と日当たりの良さを活かしたかんきつ類などの果実栽培が盛んで、果実の産出額が高いという特色があります。島根県は果実産出額が突出しているわけではないため、選択肢の誤りに注意が必要です。
問10	答え 1 夏の季節風、梅雨前線、および台風の影響	太平洋側の地域は、夏に小笠原高気圧から吹き出す南東の湿った季節風の影響を強く受けます。さらに、初夏の梅雨前線の停滞や、夏から秋にかけて接近・上陸する台風によって、短期間に大量の雨が降ることが多いため、年間降水量も非常に多くなります。これに対し、日本海側の冬季の多雨は北西の季節風が主因となります。
問1	答え 1 1 水はけの良い傾斜地などを利用して、レモンやミカンなどの柑橘類の栽培が行われている。	瀬戸内地方は、年間を通じて晴天の日が多く日照時間が長いこと、また冬でも温暖であるという特徴があります。この気候は柑橘類の栽培に非常に適しており、特に水はけの良い山の斜面を利用して、レモンやミカンなどの栽培が盛んに行われています。かつては少雨対策としてため池が各地に作られた歴史もありますが、気候の利点を活かした果樹栽培はこの地域の農業の大きな特色です。
問1	答え 1 2 促成栽培	高知県では、冬の晴天時間が長く温暖な気候を最大限に活用しています。なすなどの夏野菜を、価格が高くなる冬から春にかけて出荷するために、成長を早める「促成栽培」が行われています。これにより、消費地から遠くても輸送コストを上回る利益を得る仕組みが整えられています。これに対し、夏の涼しい気候を利用して出荷時期を遅らせる方法は抑制栽培と呼ばれます。